東北地方

名前

問1　ある農産物の都道府県別収穫量を示した統計において、第1位の県の収穫量が46万トン以上あり、第2位の県の約16万トンと比べて突出して多いという特徴が見られました。この農産物と第1位の県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2018年 北海道公立入試 類似）

1. おうとう － 山形県
2. りんご － 青森県
3. ぶどう － 山梨県
4. みかん － 和歌山県

問2　東北地方の太平洋側では、夏にオホーツク海高気圧から冷たく湿った北東の風が吹き込むことで、気温が上がらずに米などの作物の収穫量が減少することがあります。この冷たく湿った風の名称と、それによって引き起こされる災害の名称の組み合わせとして正しいものを、次の中から選びなさい。 （2017年 大分県公立入試 類似）

1. 風の名称：季節風、災害の名称：震災
2. 風の名称：やませ、災害の名称：冷害
3. 風の名称：からっ風、災害の名称：干害
4. 風の名称：フェーン現象、災害の名称：塩害

問3　東北地方の各県における農業統計に基づき、土地利用や生産状況について説明した次の文のうち、正しいものはどれですか。なお、宮城県の総面積に対する耕地面積の割合は約17.2%、青森県は約15.5%です。 （2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 岩手県は、広大な土地を活かした畜産業が極めて盛んであり、県全体の農業産出額の7割以上を畜産が占めている。
2. 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。
3. 青森県は東北地方で最も総面積が大きいため、山地が多いにもかかわらず耕地面積の割合も東北6県で最大である。
4. 秋田県と山形県は東北を代表する米どころであり、この2県だけで東北地方全体の米の産出額の半分以上を占めている。

問4　東北地方の各県で展開される特色ある農業や産業について、その背景や関連性を踏まえた説明として最も適切なものはどれか、選びなさい。 （2026年 群馬県公立入試 類似）

1. 秋田県や福島県は、西洋なしの生産シェアにおいて山形県を上回っており、東北地方全体の農業生産額の大部分をこの2県が占めている。
2. 山形県では、最上川流域の盆地において果樹栽培が発達し、西洋なしやさくらんぼの産地が形成されるとともに、天童市の将棋の駒のような伝統工芸も受け継がれている。
3. 東北地方では、伝統的に金属製品の製造を行う地域が多いため、果樹栽培のような一次産業よりも二次産業の割合が全国で最も高くなっている。
4. 青森県では、冷涼な気候を克服するために果樹栽培から米作りへと転換が進み、現在は西洋なしの生産量が全国の7割を超えるまでになった。

問5　東北地方に属する県のうち、最も南に位置し、関東地方の茨城県や栃木県と境界を接している県はどこですか。 （2020年 和歌山県公立入試 類似）

1. 山形県
2. 福島県
3. 岩手県
4. 宮城県

問6　東北地方に位置するある県では、製造品出荷額等が約9兆522億円に達し、工業が非常に盛んです。この県の農業統計を見ると、米の産出額が156億円であるのに対し、野菜の産出額が912億円と高く、県庁所在地などの都市部に向けた生産が特徴的です。このデータが示す県はどこですか。 （2024年 高知県公立入試 類似）

1. 宮城県
2. 福島県
3. 山形県
4. 秋田県

問7　日本の都道府県別の統計において、漁業生産量と果実産出額の両方が全国上位五位以内に入っている、農林水産業が非常に盛んな県はどこですか。 （2026年 岡山県公立入試 類似）

1. 山形県
2. 福島県
3. 青森県
4. 秋田県

問8　東北地方において、津軽塗や南部鉄器といった伝統的工芸品が古くから発展してきた背景を説明したものとして、最も適切な理由はどれですか。 （2022年 京都府公立入試 類似）

1. 積雪の多い冬の農閑期に、屋内でできる貴重な現金収入源として技術が磨かれたため
2. 一年を通じて温暖な気候に恵まれ、屋外での大規模な手作業に適していたため
3. 江戸時代に整備された五街道のすべてが東北地方を起点としており、物流の拠点であったため
4. 東北地方は8つの県で構成される広大な地域であり、各藩が共通の特産品を推奨したため

問9　東北地方の南部に位置する福島県は、全部で6つの県と境を接しています。このうち、福島県と同じ東北地方に属しており、かつ福島県と北側で隣接している県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2017年 三重県公立入試 類似）

1. 秋田県と山形県
2. 山形県と新潟県
3. 宮城県と岩手県
4. 宮城県と山形県

問10　東北地方の交通と地形について述べた次の文のうち、東北新幹線のルートの特徴を正しく説明しているものはどれですか。 （2023年 熊本県公立入試 類似）

1. 日本海側の平野を結ぶルートであるため、最上川や信濃川といった日本最長クラスの河川を順に渡る。
2. 福島県内では険しい山越えを避けるため、阿武隈川の支流である最上川の渓谷に沿って線路が敷かれている。
3. 岩手県から青森県にかけては、火山が連なる山岳地帯を避けるために北上川の河口付近を走行する。
4. 奥羽山脈の東側に広がる平野や盆地を通るため、阿武隈川や北上川といった太平洋側に注ぐ河川と交差する。

問11　東北地方の内陸部に見られる、周囲を山々に囲まれた低地のことを何と呼びますか。この地形は水はけが良く、さくらんぼやももなどの果樹栽培に利用されているのが特徴です。 （2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 平野
2. 盆地
3. 台地
4. 高原

問12　東北地方の盆地において、果樹栽培が盛んに行われている地理的な理由を説明したものとして、正しい内容はどれですか。 （2024年 宮城県公立入試 類似）

1. 内陸部で一年中降水量が多く、果樹の成長に必要な水分が常に豊富に供給されるため
2. 火山灰が堆積してできた水持ちの悪い台地が広がっており、それを利用しているため
3. 周囲の山々が冷たい季節風を遮るため、冬でも温暖で柑橘類の栽培に適しているため
4. 山に囲まれた地形により形成された、水はけの良い傾斜地が果樹の生育に適しているため

問13　日本の高速鉄道網である東北新幹線について、東北地方の南部に位置し、首都圏と東北の各都市を結ぶ交通の要所となっている県はどこですか。 （2014年 愛媛県公立入試 類似）

1. 福井県
2. 長野県
3. 岐阜県
4. 福島県

答え合わせ・解説

問1	答え 2 りんご － 青森県	設問の統計的特徴は、特定の県に生産が集中していることを示しています。青森県はりんごの全国生産量の約6割を占める圧倒的な産地であり、2位の長野県を大きく引き離しています。ぶどうやみかんなどの他の果実は、上位県同士の差がこれほど極端ではありません。
問2	答え 2 風の名称：やませ、災害の名称：冷害	オホーツク海高気圧から吹き込む冷たく湿った北東の風は「やませ」と呼ばれます。これが夏に長期間吹き続けると、東北地方の太平洋側を中心に日照不足や低温が続き、農作物の成長が妨げられます。特に主食である米が大きな被害を受けるこの災害を「冷害」と呼び、日本の東北地方における地理的課題の一つとなっています。
問3	答え 2 宮城県は、仙台平野などの平地を有効に活用しており、総面積に対する耕地面積の割合が青森県を上回っている。	土地利用の状況を示す指標として「総面積に対する耕地面積の割合」があります。宮城県は仙台平野という米づくりに適した平野部を持つため、この割合が約17.2%となっており、面積の大きい青森県（約15.5%）よりも高い比率で土地が耕作に利用されています。岩手県の畜産や秋田・山形の米の生産割合については、統計上そこまで極端な集中（7割超や2県で過半数など）は見られません。
問4	答え 2 山形県では、最上川流域の盆地において果樹栽培が発達し、西洋なしやさくらんぼの産地が形成されるとともに、天童市の将棋の駒のような伝統工芸も受け継がれている。	山形県の農業は、最上川沿いに広がる盆地の気候的特性を活かしている点が重要です。夏が高温で昼夜の寒暖差が大きい盆地は果樹栽培に適しており、西洋なしやさくらんぼの高品質な生産を可能にしています。また、地域の歴史的背景に基づいた将棋の駒などの伝統工芸も、農業と並んで地域の特色ある産業を形作っています。
問5	答え 2 福島県	福島県は東北地方の南の玄関口と呼ばれ、地理的に関東地方と密接な関わりを持っています。北側は宮城県や山形県、西側は新潟県（中部地方）と接していますが、南側で茨城県、栃木県、群馬県の3県と境界を接している点が大きな特徴です。この位置関係から、首都圏との交通や経済の結びつきが非常に強い県です。
問6	答え 1 宮城県	宮城県は、東北地方において製造品出荷額等が突出して多い工業県としての側面を持っています。農業においては、全国的に有名な米どころである一方、東北最大の都市である仙台市という大きな消費地を抱えているため、都市住民向けに新鮮な野菜を供給する近郊農業が発達しており、統計上も野菜の産出額が高い割合を占めるという特徴があります。
問7	答え 3 青森県	青森県は、三方を海に囲まれた地理的条件を活かした漁業と、冷涼な気候を利用したリンゴなどの果樹栽培の双方が全国トップクラスの規模を誇っています。統計上、漁業生産量と果実産出額の双方が全国トップ5に入るという、一次産業において極めてバランスの取れた高い生産力を持つことが特徴です。
問8	答え 1 積雪の多い冬の農閑期に、屋内でできる貴重な現金収入源として技術が磨かれたため	東北地方は冬の寒さが厳しく、雪によって農業ができない期間（農閑期）が長く続きます。この期間に、地元で採れる木材や漆、鉄などの資源を加工し、屋内で副業として工芸品を作ることが奨励されたため、高度な技術が蓄積されました。なお、東北地方は6県で構成されており、五街道（東海道・中山道・甲州街道・日光街道・奥州街道）のうち、東北地方を通るのは奥州街道のみです。
問9	答え 4 宮城県と山形県	福島県は東北地方の最南端に位置するため、同じ東北地方の中で境界を接しているのは北側に位置する宮城県と山形県の2県のみです。岩手県や秋田県、青森県とは直接接していません。また、西側で接している新潟県は中部地方に分類されるため、地方区分と県境の位置関係を正確に理解しておく必要があります。
問10	答え 4 奥羽山脈の東側に広がる平野や盆地を通るため、阿武隈川や北上川といった太平洋側に注ぐ河川と交差する。	東北新幹線は、東北地方の中央を貫く奥羽山脈の東側（太平洋側）に位置する盆地をつないで建設されました。そのため、福島盆地を流れる阿武隈川や、北上盆地を流れる北上川など、太平洋へ注ぐ主要河川と密接に関係したルートとなっています。山形県を流れる最上川は奥羽山脈の西側を通るため、東北新幹線のルートからは外れます。
問11	答え 2 盆地	内陸部において周囲を山に囲まれた低地を「盆地」と言います。東北地方では山形盆地や福島盆地が代表的です。これらの地域は、山から流れる河川によって運ばれた土砂が堆積してできた扇状地などが発達しており、水はけが非常に良いため、米作りよりも果樹栽培に適しています。
問12	答え 4 山に囲まれた地形により形成された、水はけの良い傾斜地が果樹の生育に適しているため	盆地の周辺部には、山から流れ出た土砂が積もってできた「扇状地」と呼ばれる水はけの良い緩やかな傾斜地が多く見られます。果樹は一般に水はけの良い土地を好むため、これらの地形が有効に活用されています。また、内陸の盆地は夏に気温が上がりやすく、日照時間も確保しやすいため、果実の甘みが増すという気候的な利点も組み合わさっています。
問13	答え 4 福島県	東北新幹線は東京から新青森までを結ぶ高速鉄道であり、福島県はその経由地として重要な役割を担っています。福島県は東北地方の玄関口にあたり、県内には郡山駅や福島駅などの主要な停車駅が存在します。これにより、首都圏との時間距離が短縮され、人々の移動や物流が効率化されています。